



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所  
 コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田憲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5575

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,515	0.7	29	246.8	20		67	
2019年3月期第3四半期	3,541	2.7	8	87.8	1	98.4	10	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	1.42	
2019年3月期第3四半期	0.22	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,610	3,820	44.4
2019年3月期	8,817	3,872	43.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,820百万円 2019年3月期 3,872百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	3.3	50		36		76		1.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	48,849,935 株	2019年3月期	48,849,935 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	942,209 株	2019年3月期	994,309 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	47,884,738 株	2019年3月期3Q	47,815,497 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)については、従業員持株会支援信託ESOPが所有する当社株式を控除する自己株式を含めて算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間	
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られるものの、米中貿易摩擦等に起因する海外経済の減速懸念から輸出や生産に弱さが見られたのに加え、消費税増税による個人消費の影響や、相次いだ自然災害による影響等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当第3四半期累計期間の売上高は、製品商品売上高が3,100百万円(前年同期比0.9%増)および作業屑売上高が414百万円(前年同期比11.2%減)となり、合計で3,515百万円(前年同期比0.7%減)となりました。製品商品売上高のうち、LPガス容器用弁は、上期は値上げしつつも適宜販売キャンペーンの実施により増加しておりましたが、下期に入り暖冬の影響で需要が大きく減退し前年同期比で減少しました。また、バルク付属機器は前期末にかけて値上げ前の駆け込み需要があった反動と、貯槽生産が想定よりも伸び悩んでいる影響により前年同期比で減少しました。一方で、設備用はキャンペーンの実施により、また、船舶用弁は前期の落ち込みから復調し増加しました。

損益面につきましては、前期に完成したLPガス容器用弁の新製造ラインの償却費負担増や運賃その他の諸掛かりの増加が大きく、これに対処するため、工場消耗品費、消耗工具費等の圧縮や部品内製化による外注費削減等の経費削減、および各種製品の値上げに努めた結果、営業利益29百万円(前年同期比246.8%増)、経常利益20百万円(前年同期は1百万円)と前年同期比では大幅に改善しました。また、特別利益に投資有価証券売却益46百万円、役員退職慰労引当金戻入額10百万円を計上したことにより、四半期純利益は67百万円(前年同期は四半期純損失10百万円)となりました。なお、通期予想に関しましては、本日公表した「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、115百万円減少して3,933百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加83百万円および原材料及び貯蔵品の増加19百万円による一方で、現金及び預金の減少117百万円、受取手形及び売掛金の減少80百万円および仕掛品の減少11百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、91百万円減少して4,676百万円となりました。これは主に、リース資産(純額)の増加45百万円および建設仮勘定の増加20百万円による一方で、機械及び装置(純額)の減少71百万円および投資有価証券の減少92百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、206百万円減少して8,610百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は前事業年度末に比べて、101百万円減少して2,470百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加201百万円による一方で、支払手形及び買掛金の減少219百万円、賞与引当金の減少27百万円およびその他の流動負債の減少66百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、53百万円減少して2,319百万円となりました。これは主に、その他の固定負債の増加45百万円による一方で、長期借入金の減少65百万円および役員退職慰労引当金の減少29百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、155百万円減少して4,790百万円となりました。

##### (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、51百万円減少して3,820百万円となりました。これは主に、剰余金の配当96百万円による利益剰余金の減少28百万円およびその他有価証券評価差額金の減少31百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の43.9%から44.4%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2020年2月7日)公表した「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	319,680	202,289
受取手形及び売掛金	994,273	913,475
商品及び製品	2,017,412	2,100,906
仕掛品	56,922	44,951
原材料及び貯蔵品	631,605	651,518
その他	30,625	21,989
貸倒引当金	△1,541	△1,541
流動資産合計	4,048,978	3,933,588
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	389,227	372,600
構築物(純額)	60,910	57,222
機械及び装置(純額)	1,031,140	959,681
車両運搬具(純額)	1,546	1,073
工具、器具及び備品(純額)	51,701	37,757
土地	2,441,000	2,441,000
リース資産(純額)	54,907	100,333
建設仮勘定	6,173	26,865
有形固定資産合計	4,036,607	3,996,534
無形固定資産		
投資その他の資産	13,829	15,942
投資その他の資産		
投資有価証券	421,771	329,349
その他	304,168	342,956
貸倒引当金	△8,100	△8,100
投資その他の資産合計	717,840	664,205
固定資産合計	4,768,277	4,676,683
資産合計	8,817,256	8,610,271

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	719,385	500,096
短期借入金	1,189,999	1,391,000
1年内返済予定の長期借入金	224,742	227,202
未払法人税等	10,643	18,737
賞与引当金	41,697	14,537
その他	386,209	319,355
流動負債合計	2,572,676	2,470,927
固定負債		
長期借入金	1,248,920	1,183,700
再評価に係る繰延税金負債	731,471	731,471
退職給付引当金	258,318	254,357
役員退職慰労引当金	83,509	54,115
その他	50,339	95,446
固定負債合計	2,372,559	2,319,091
負債合計	4,945,236	4,790,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,993,096	1,993,096
資本剰余金	4,217	4,217
利益剰余金	288,327	259,806
自己株式	△152,781	△144,341
株主資本合計	2,132,859	2,112,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,493	8,806
土地再評価差額金	1,698,666	1,698,666
評価・換算差額等合計	1,739,160	1,707,472
純資産合計	3,872,020	3,820,252
負債純資産合計	8,817,256	8,610,271

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,541,143	3,515,335
売上原価	2,889,835	2,879,209
売上総利益	651,308	636,126
販売費及び一般管理費	642,793	606,598
営業利益	8,514	29,527
営業外収益		
受取利息	17	8
受取配当金	8,553	7,761
不動産賃貸料	4,534	4,457
スクラップ売却益	3,339	3,454
損害保険金収入	—	3,588
その他	4,748	3,097
営業外収益合計	21,193	22,368
営業外費用		
支払利息	13,887	15,806
支払手数料	5,000	3,049
手形売却損	6,560	7,074
その他	2,397	5,370
営業外費用合計	27,845	31,300
経常利益	1,862	20,596
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	10,725
投資有価証券売却益	—	46,884
貸倒引当金戻入額	1,433	—
特別利益合計	1,433	57,609
特別損失		
固定資産除却損	53	1
特別損失合計	53	1
税引前四半期純利益	3,243	78,204
法人税、住民税及び事業税	7,201	10,414
法人税等調整額	6,346	—
法人税等合計	13,547	10,414
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,304	67,790

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。